

# 介護保険・地域包括ケアの あるべき姿を考える

2000年4月にスタートした介護保険制度は本年20年目を迎えます。介護保険制度は家庭介護の歴史から介護の社会化をはかり、主に家庭内で介護を担ってきた女性の社会進出を目指すと同時に従来の福祉制度と比較して給付の拡大とサービス機会の公平性をはかるものでした。しかし、当初の理念とは別に団塊の世代が後期高齢者になるのを前にして、財政主導の改革が進み、給付の見直し、サービスの切り捨てが行われています。

講演をお願いした鏡諭先生は財政優先の制度改定に対して改めて介護保険制度の理念や社会の目指す方向性について、発言を続けています。

厚労省主導の度重なる対処療法的な制度改定に対して、運営する自治体現場では常に制度に関する情報収集見直しを繰り返し行わな

ければならず、多くの混乱が生じました。そのため、介護保険の体制は、地方分権の理念に反して、自治体独自の政策を構築するに至らず、中央集権的な政策依存体質を招いています。

鏡先生は自治体現場の出身の経験を生かして、現場の自治体職員、ケアマネージャー、参入している事業者との交流を重ねて介護保険制度のあるべき姿について提言を行っています。今回の講演では、千葉県内の介護保険制度の現状についてお話をいただくことになっています。介護保険に関わる関係者の皆様、そして、地方自治関係する会員にとって有益な時間を過ごせるものと確信しています。皆様のご参加をお待ちしています。

[講演会資料代 500円 会員無料]

## 自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2020年3月7日（土）  
14時30分～16時30分
- 会場：千葉県教育会館本館 203 会議室  
千葉市中央区中央4-13-10

### <講演 講師紹介>

鏡 諭 氏  
(かがみ さとし)



<現職> 淑徳大学コミュニティ政策学部教授。  
早稲田大学大学院社会科学部兼任講師、法政大学大学院公共政策研究科兼任講師、関東学院大学法学部兼任講師。

<専門> 自治体福祉政策論

<略歴> 1954年山形県出身、1977年所沢市役所入庁、介護福祉課主査、高齢者支援課長、総合政策部政策審議担当参事を歴任後、2009年3月退職。同年4月から現職

★ お申込は自治研センターへ 電話043-225-0020  
FAX 043-225-0021  
☆ 2月21日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉